

令和7年10月6日
東京都病害虫防除所

令和7年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号

病害虫名： シロイチモジヨトウ

対象作物： ネギ

1 注意報の内容

- (1)対象地域 都内全域
- (2)発 生 量 多

2 注意報発令の根拠

- (1)シロイチモジヨトウのフェロモントラップの誘殺数は、8月第5半旬までは平年値と同等であったが、その後誘殺数が急増し、同月第6半旬から9月第6半旬の誘殺数は7.8～27.5頭となり、平年値の2.9～17.4倍であった。9月第3、4半旬を除き過去10年間の同期間において最多となった（図1）。
- (2)9月の病害虫発生予察調査では、都内のネギ圃場5地点におけるシロイチモジヨトウの被害株率は38.0%となり、平年値（0%）より著しく高かった。
- (3)9月25日に気象庁より発表された関東甲信地方の1か月予報によると、向こう1か月の平均気温は高い確率が80%であり、シロイチモジヨトウの発生に好適な環境が続くと予想される。
- (4)本虫はネギの他にイチゴ、キャベツ、ホウレンソウ、レタス、花き類などを加害することが知られており、都内でもハボタンで発生が確認されている。

3 防除対策

- (1)卵塊や若齢幼虫の集団が寄生した葉は見つけ次第取り除く。
- (2)老齢幼虫では薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤散布を実施する。

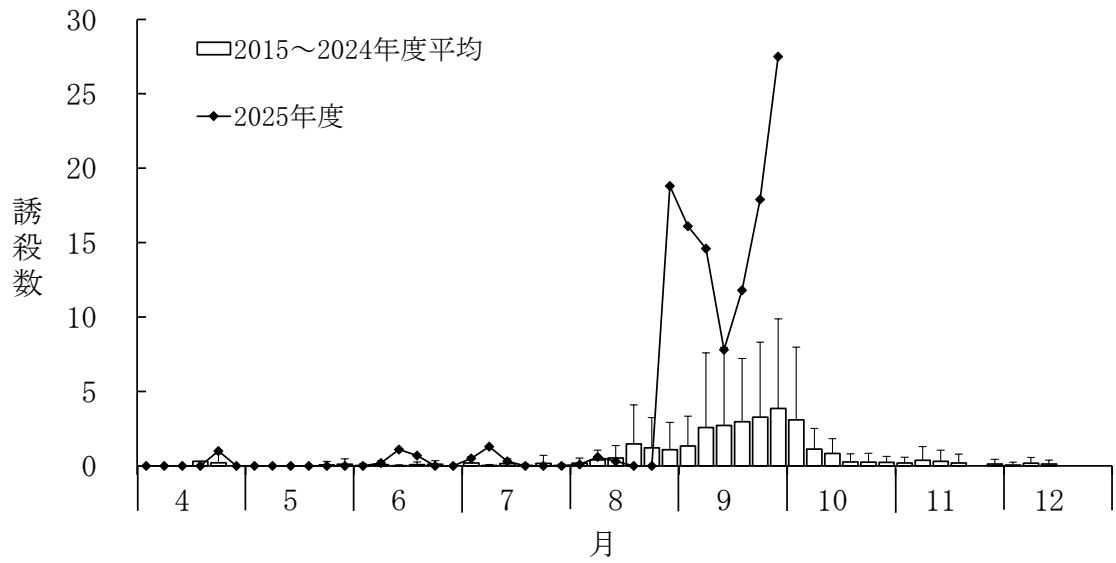


図1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数推移（立川市内）



図2 幼虫（左図：若齢幼虫、中図：中齢幼虫、右図：老齢幼虫）



図3 成虫



図4 ネギでの被害

表1 ネギのシロイチモジヨトウに対する主な防除薬剤

薬 剤 名	IRAC	成分名	使用時期 (日)	使用回数
スピノエース顆粒水和剤	5	スピノサド	3	3
ディアナSC	5	スピネトラム	1	2
アニキ乳剤	6	レピメクチン	3	3
アフーム乳剤	6	エマメクチン安息香 酸塩	7	3
コテツフロアブル	13	クロルフェナピル	7	2
カスケード乳剤	15	フルフェノクスロン	14	3
マッチ乳剤	15	ルフェヌロン	7	3
ファルコンフロアブル	18	メトキシフェンジド	1	2
ロムダンフロアブル	18	テブフェノジド	7	3
ハチハチ乳剤	21A	トルフェンピラド	7	2
トルネードエースDF	22A	インドキサカルブ	14	2
ベネビアOD	28	シアントラニリプロ ール	1	3
ヨーバルフロアブル	28	テトラニリプロール	3	3
グレーシア乳剤	30	フルキサメタミド	7	2
ブロフレアSC	30	ブロフラニリド	1	3
プレオフロアブル	UN	ピリダリル	3	4

注) 農薬を使用する際は、ラベルの記載事項を確認する。